

平成二十九年年度

修士論文・卒業論文題目

史学・文化財学科

〈日本史・アーカイブズコース〉

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

高妻 朗久 電報記録史料の研究―西南戦争

における長崎県の電報記録と情
報―

西本 朗崇 義演准后日記に見る二重公儀論

の実態について

吉田 翔馬 大分県における評価選別基準を

文書の残存性から考える

〈文化財学専攻〉

大矢健太郎 陶硯からみる古代官衙について

―円面硯の大きさからみる機能

を中心に―

中原 彰久 古代道路からみる古代山城の機能

松浦 由佳 都市の類型と、その構造の検討

―中世期における博多編―

吉竹 千穂 鰻と蛸―日本における伝承と信

仰―

小峰 将裕 家紋について

近藤 誠 『龍馬伝』―なぜ坂本龍馬は英

雄視されたのか―

坂倉 健斗 小倉小笠原藩における第二次長

州戦争に至るまでの状況とその

後の小笠原藩の状況

新谷 拓巳 少弐氏と元寇

田崎幹奈子 渡辺崋山の洋楽希求について

恒遠未樹登 関ヶ原合戦における小早川秀秋

について

新名 暁 19世紀の極東情勢と第一次日英

同盟

西田 淳哉 豊後岡藩における勤王活動と幕

政改革

長谷川智子 新選組の組織体制

濱崎 友香 法華一揆の一考察―京都の日蓮

宗―

廣次 優子 鎌倉幕府成立史における奥州合

戦の意義

深井 祥希 軍事的視点からの山本五十六の

評価について

船津 奎 織豊期について

古澤 直樹 鎌倉幕府成立過程における平家

没官領の再検討

小坂稜太郎 毛利元就

いて

増田 瞳

太平洋戦争時の九州各県における戦時中の状況について―熊本県と鹿児島県を比較して―

後藤 愛美

『ポボル・ヴフ』から見る先スベイン期のマヤ地域における人々の世界観

渡邊 諒一

冷戦初期におけるアメリカ合衆国の封じ込め政策について

宮崎 崇仁

豊臣秀吉について

崎田 萌乃

イエニチエリの軍事編成とオスマン社会

穴瀬 奈美

環境歴史学・文化遺産学コース
庶民芸能の変容と広がりについて

武藤 遥

徳川家康と江戸幕府

竹中 誠樹

ペルシャ帝国とゾロアスター教アジアとの貿易から見る琉球王朝の変化について

植村 彩香

RPGの変遷とその社会的意味―現代におけるRPGの評価―

矢羽田昇吾

幕末期から明治初期の移行における国民教育の確立

津嘉山正成

朝の変化について

倉本夏那子

歌舞伎の継承―民衆への浸透と民衆による支持―

山川 謙輔

参勤交代制度の変遷とその影響

中村 幹典

北魏前期の政治と歴史

坂本 未夏

渡来人からみた豊前の歴史と文化―田川・香春地域を中心に―

山田 博之

讒誘律の明治期における役割と旧刑法成立への影響―具体的事例の検討からみる讒誘律の法的性格をふまえて―

成枝 千夏

テンプル騎士団の栄光と破滅

静海亜理沙

天草の漁業史と漁村の信仰

山本慶次郎

明治の財政難と財政政策

服部 優作

イギリス産業革命における意義と工業化の歴史及び国際的な影響―ジェントルマンを中心に考察して―

土谷 晴葉

ケルトから派生した妖精における受容

吉武 知亮

応仁の乱―前史―

原山 未希

古代ギリシアにおけるオリシピックの精神

遠山 飛翔

内成棚田―保全と観光の在り方を探る―

〈世界史コース〉

赤木 太城

17、18世紀のオランダ東インド会社とインドネシアの関係

古荘 混貴

レオナルド・ダ・ヴィンチの絵画作品の革新性について

中塚 栞理

環境歴史学から見た、阿蘇カルデラの暮しと文化

江藤 陽花

『グリム童話集』からみるヨーロッパにおける自然・動物の意義

三吉 晴花

西洋の紋章―英仏に見る西洋における紋章の存続と衰退、日本の家紋との比較―

中村 凜

志布志湊における宝満寺と大慈寺―中世から近世初頭 九州南部の律禅宗の動き―

金子 昂平

古代ローマの帝国統治における軍隊の役割

吉浜 遥那

ヨーロッパにおける魔女狩り―ドイツ・トリアー選帝候領における魔女迫害「フライデ事件」―

納戸 翼

風浪宮 神功皇后と阿曇一族

工藤 俊貴

孫呉政権成立の過程

福岡 幸博

昭和期の軍歌・戦時音楽―戦前・戦中・戦後を通して―

香口 葵

Jリーグの歩みとこれからの課題

松田 亮 鉄輪の入浴習俗 大分県別府市

鉄輪温泉地区における入浴習俗

三代 苗生 日記から見る地域の年中行事

山口 香澄 鹿児島県における田の神信仰

吉田 由加 出島―絵図から読み解く出島の

暮らしと文化―

永田 祥大 対人武器としての弓矢の発達―古

墳時代における武器の変遷史―

野田 千輝 近世墓地の研究―杵築市長昌寺

の近世墓地から見る地域性―

福岡 力也 北部九州における銅剣の埋納に

ついて

古田矩美子 古墳の葺石構築法について―日

向地域と畿内地域の葺石構築法

の比較―

牧 直人 戦国時代の中世城郭における馬

出の分類と発展―馬出の完成形

は何か―

横井 直光 紫川流域における弥生集落の構

造と展開

吉岡 拓哉 中・南部九州における刻目突帯

文土器文化について―特に出土

遺物から見た生業形態を中心と

して―

渡辺 聖規 南九州の縄文前期における生業

の研究―貝塚を中心として―

小玉 将司 宮崎県の城郭について

佐々木崇行 中世寺院・近世織豊期城郭瓦に

おける製作技法の変化について

寺田 圭佑 北部九州地域の大形建物について

時枝 杏名 キリシタンの十字架について―

1549年―1614年におけ

る十字架表現の特徴―

〈考古学・保存科学コース〉

池田 亘 南九州における地下式横穴墓群

の群構造について

井手 基子 今山系石斧の生産・流通に見る

韓半島の影響について

入部 貴昌 貝塚から見る縄文時代の漁撈活

動―大分県内の貝塚を中心とし

て―

黒肥地武任 藤堂高虎が関与した城郭遺跡群

について―縄張図との比較を通

じて―